

2021 AUTOBACS SUPER GT Round 6 AUTOPOLIS GT 300km RACE

2021年10月23日(土)

予選 レポート



場所:オートポリス (大分県) 1周 4.674m 観客動員数:制限付開催 6,500人
天候:晴れ | コース:ドライ | 気温/路温 Q1 開始: 14°C/26°C Q2 開始: 13°C/26°C

ポジション2位を獲得

2021年 SUPER GT シリーズは、2年ぶりの開催となるオートポリス(大分県)で第6戦を迎えた。前戦の SUGO で優勝する事が出来たと同時にシリーズポイントでも首位に立ち、SUBARU BRZ が得意とするこのサーキットで上位を狙いたいが、100kgのサクセスウエイトが問題である。この日のオートポリスは、曇は多く時おり日が差すものの肌寒い一日となった。

10月23日(土)

<公式予選 Q1 A組/ 13:55~14:05>

公式予選Q1はA組とB組に分かれ、それぞれ上位8台がQ2に進む。Q1は井口卓人が担当する。予選開始まもなくコースインしアタックを開始する。井口は100kgのサクセスウエイトをはねのけ、計測3周目に1分42秒869を記録し、2番手でQ1予選を通過する。



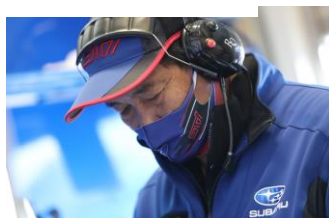
www.rdsport.net

<公式予選 Q2/ 14:48~14:58>

10分間のこのセッションで予選順位が決まる。山内英輝が Q2を担当する。山内は計測3周目に1分42秒316のコースレコードタイムを出しトップに立つが、最終的に#31 PRIUS に逆転され2位で予選を終える。なお、GT500クラスのポールポジションは#16 Red Bull MOTUL MUGEN NSX-GT が獲得した。



■本島監督 コメント



午前中の練習走行である程度手応えは感じていたのですが、ここまでタイムを伸ばせるとは…。井口選手が Q1で100kgの壁をこじ開けてくれましたし、山内選手も Q2でそれに応えてくれました。しかし、ここオートポリスは特にレース中に前車を抜く事が難しく、またタイヤも痛みやすいサーキットです。ポジション2位を活かしたレースが出来れば結果を出せる可能性は高いと思います。

予選の詳細に関しては SUPER GTホームページ <https://supergt.net/> 、
またSUBARUモータースポーツマガジン <https://www.subaru-msm.com/2021/sgt/report/> もご覧ください

2021年10月23日
SUBARU BRZ
アールアンドデースポーツ
<http://www.rdsport.net/>



www.rdsport.net